

牧師所感：ジミー・カーター元アメリカ大統領の死を悼む

アメリカの元大統領（第39代）が2024年12月29日に死去したというニュースを朝日新聞報道によって知った。享年100才であった。

筆者は元大統領とは面識はないが、かねてから氏に対する人となりと、キリスト者としての信仰の噂を先輩のキリスト者から聞いていた。

さて、筆者はアメリカ留学（1983-88）を終え、ジョージア州のColumbus市にあるコロンバス・プレスビテリアン教会の牧師として就任し、2年間（1986-88）牧会した経験がある。その2年間の間にカーター氏の農園を見学したことがある。カーター氏はとても広いピーナッツの農園を持つ地主であった。ところが農園の入口にカーター氏の選挙事務所があった。とても古く今にも倒れそうな事務所であった。筆者は思った。州知事、大統領まで経験した方が、こんな見すぼらしい選挙事務所を持っておられるとは？と訝った。さて話に聞きますと、カーター氏は信仰を持った青年時代から大統領在任中も、教会学校の教師として忠実に使命を果したと聞く。

さて、カーター大統領は、在任中は試練の連続で、一期4年で大統領の座を下りたけれど、退官後の活躍は世間の人々の賞賛の主人公となった。例えば、キューバや北朝鮮などで平和を実現した。また、中東和平に献身したこと等。筆者はアメリカから日本へ戻り、牧師として働いている間にもアメリカ在住の息子より、カーター氏の消息をつぶさに聞いていた。またカーター・センターを拠点に、人権外交に励み、住宅を必要とする人に住宅供給等、慈善事業に尽力したこと等、キリストの精神を実践した。世界はノーベル賞授与を通して彼の功績を讃えている。

おわりに、罪深い筆者も、氏に学び、主なる神がお召しになるまで、使命を全うする者として生きることを請う。

読者諸賢の幸を祈る！！